

事業概要説明書 [1]		事業番号	1 - 6		
事務事業名	生涯学習推進協議会活性化事業	担当部名	地域振興部		
事業開始年度	昭和 63 年度	担当課名	地域コミュニティ課		
実施方法	補助 ・ 直営	担当係	公民館係		
根拠法令等	教育基本法 ・ 社会教育法				
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	各地区生涯学習推進体制の整備・充実を図る。			
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何を するのか 〕	<p>① 社会教育関係の団体等で組織された「宮崎市生涯学習推進協議会」へ補助金を交付する 10,066,000円 ※下記(ア)(イ)</p> <p>【宮崎市生涯学習推進協議会の事業内容】</p> <p>(ア)生涯学習推進協議会運営費 2,016,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市生涯学習推進協議会事業運営費 96,000円 ・各地区生涯学習推進協議会事業運営費の交付 1,840,000円 (80,000円×23地区分) ・防衛施設周辺整備の融和事業助成金(佐土原) 80,000円 <p>(イ)生涯学習フェスティバル開催費 8,050,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニー 850,000円 ・各地区文化祭 6,900,000円 (300,000円×23地区分) ・中央公民館まつり 200,000円 ・図書館まつり 100,000円 <p>② 合併調整方針により、清武地区の生涯学習推進協議会設立支援及び、清武地区生活学校の支援を行う 294,000円</p>			
	事業の必要性	<p>地区生涯学習推進協議会の事務局である公立公民館は、生涯学習の機会・環境を整えて、地域の人材育成を担い地域づくりに関与している。地域の公立公民館を拠点に、地区文化祭などで学習成果発表の場を提供すると共に、文化祭準備段階から実行委員の連携を深めることでまちづくりのネットワークにも総合的に寄与している。また、地域のリーダーの世代交代を円滑に進めるためにも、継続的に支援し、新たなリーダーを育成していかなければならない。そして、住む地域によって学習の機会や活動の機会に差が生じないように、行政が生涯学習の推進を支援していくことが必要である。</p>			
コスト	平成23年度(予算)		人件費		
	直接事業費 (A)	10,360 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費 (B)	2,440 千円	正規職員	2,250 千円	0.3 人
総事業費 (A+B)	12,800 千円	嘱託員	190 千円	0.1 人	
平成23年度 直接事業費内訳	<p>(千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■報償費(清武) 246 ■需用費(清武) 48 ■補助金 10,066 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進協議会運営費補助 2,016 ・生涯学習フェスティバル開催補助 8,050 				

事業概要説明書 [2]		事業番号	1 - 6		
年度		平成22年度(決算)		平成23年度(予算)	
直接事業費		8,521 千円		10,360 千円	
財源	一般財源	8,521 千円		10,280 千円	
	受益者負担金	0 千円		0 千円	
	その他	0 千円		80 千円	
成果目標 〔 どのような状態 を目指すのか 〕	生涯学習関係団体の活性化と連絡調整が図られ、生涯学習のまちづくりが推進されるとともに市民一人ひとりの生涯学習活動への参加が促進される。				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている			
	[説明]	<p>【生涯学習フェスティバル】 各地区の生涯学習推進協議会を中心に開催され、天候等に左右されるところがあるものの毎年多くの参加者がある。平成22年度は目標数値に達してはいないが昨年比+3、199人の参加者であった。</p>			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名 (下段:指標の説明)	単位	数値 (上段:目標 / 下段:実績)		
			平成21年度	平成22年度	平成23年度
	生涯学習フェスティバルの参加人数	人	45,000	45,000	51,000
			39,112	42,311	
事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	平成23年度から旧田野・佐土原町域でも地区生涯学習推進協議会が設立され、宮崎市の生涯学習推進体制については、宮崎市生涯学習推進協議会の下に市内23地区に地区生涯学習推進協議会が組織されており、それぞれ特色を生かした取り組みを行っているところである。毎年、オープニングセレモニーでは、それぞれの地域が独自に取り組む事業が発表されており、各地域のこれからの取り組みの参考となっている。市民一人ひとりの生活の充実を目指す生涯学習を活用したまちづくりと地域の教育力向上をまちづくり推進協議会と連携して推進する。旧清武町域においても地区生涯学習推進協議会の設立を待ち、宮崎市生涯学習推進協議会への統合を進めていく。				
特記事項 〔 参考情報等 〕	平成22年度の決算額から平成23年度の予算額の増加分は、佐土原(3地区分)と田野(1地区分)での協議会設立・統合によるものである。				

生涯学習推進協議会活性化事業補助資料【地域コミュニティ課】

1 推進組織整備の経緯

昭和 63 年、社会教育関係団体・市民活動団体の 14 団体で構成する「宮崎市生涯教育関係団体等連絡協議会」を発足。同時に、市内 15 の地区でも「地区生涯学習推進協議会」を結成。平成 2 年には「宮崎市生涯学習推進協議会」に名称を変更した。平成 22 年度末の加盟団体は 17 団体、地区協議会は 19 地区で設立されており、平成 23 年度からは佐土原地区、田野地区も統合し、23 の地区生涯学習推進協議会と 17 の加盟団体で組織されている。

※「宮崎市生涯学習推進協議会」は表 1 の加盟団体と表 2 の地区生涯学習推進協議会で構成されている。

(表 1)

宮崎市生涯学習推進協議会加盟団体			
1	宮崎市自治公民館連絡協議会	10	宮崎市生活学校連絡会
2	宮崎市地域婦人会連絡協議会	11	宮崎市老人クラブ連合会
3	宮崎市子ども会育成連絡協議会	12	宮崎市自治会連合会
4	宮崎市青少年育成連合会	13	宮崎商工会議所
5	宮崎市民生委員児童委員協議会	14	宮崎市青少年指導委員連絡協議会
6	宮崎市 PTA 協議会	15	宮崎市青年ネットワーク
7	ガールスカウト日本連盟宮崎県支部宮崎地区協議会	16	宮崎市小学校校長会（大淀小学校）
8	日本ボーイスカウト宮崎連盟中央地区協議会	17	宮崎市中学校校長会（赤江東中学校）
9	宮崎市青年団協議会	計	17 団体

(表 2) 中学校区ごとに設立されている地区生涯学習推進協議会の一覧表

地区生涯学習推進協議会	事務局 (公立公民館)	委員 数	地区生涯学習推進協議会	事務局 (公立公民館)	委員 数
1 小戸・西池地区	宮崎西地区交流センター	36	13 北地区	西部地区農村環境改善センター	40
2 赤江地区	赤江公民館	62	14 東大宮地区	東大宮地区コミュニティセンター	42
3 生目地区	生目公民館	90	15 宮崎東地区	宮崎東地区交流センター	67
4 檜地区	檜公民館	175	16 宮崎地区	宮崎地区交流センター	117
5 木花地区	木花公民館	73	17 赤江東地区	赤江東地区交流センター	60
6 住吉地区	住吉公民館	48	18 生目台地区	生目台地区交流センター	98
7 大淀地区	大淀公民館	31	19 高岡地区	高岡地区農村環境改善センター	39
8 青島地区	青島公民館	88	20 佐土原地区(佐土原)	佐土原交流プラザ	—
9 大宮地区	大宮公民館	66	21 " (久峰)		—
10 本郷地区	本郷公民館	52	22 " (広瀬)		—
11 大塚地区	大塚公民館	35	23 田野地区	田野公民館	—
12 生目南中学校区	生目南公民館	52	計	23 地区	

※高岡は 18 年度、佐土原・田野は H23 年度に設立。

※委員数は H22 年度の地区協議会委員と文化祭実行委員の人数の合計。

2 生涯学習とは

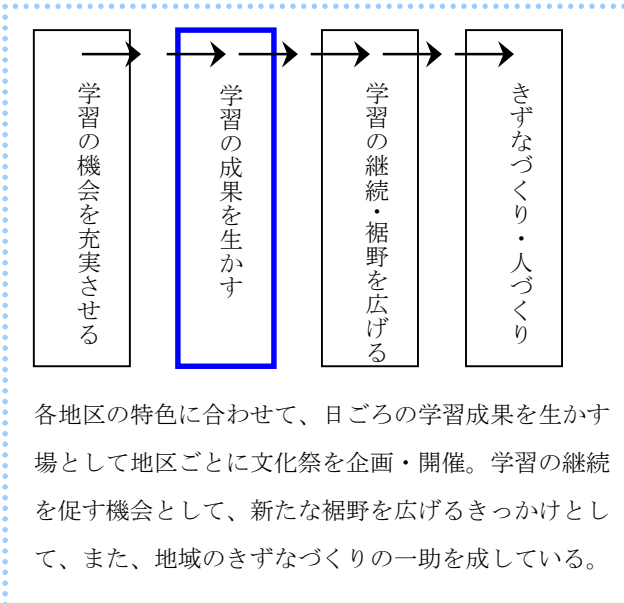
■教育基本法 第3条 (生涯学習の理念) 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

■教育基本法 第12条 (社会教育) 個人の要望や社会の要請に応え、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

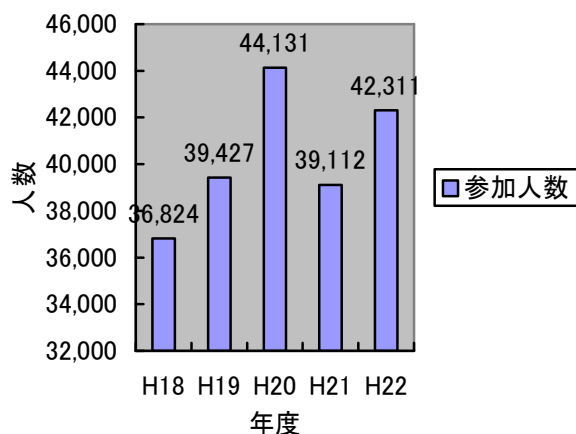
2 国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

■中央教育審議会の答申書より抜粋 (文部科学省に設置) 各個人が行う組織的でない学習(自学自習)のみならず、社会教育や学校教育において行われる多様な学習活動を含め、国民一人一人がその生涯にわたって自主的・自発的に行うことを基本とした学習活動である。

3 生涯学習フェスティバルの位置づけ



(グラフ) 生涯学習フェスティバル参加人数
(地区文化祭+オープニングセレモニー)



(表3) H22 各地区文化祭の日程・参加人数の実績

日程	地区名	参加者人数
10/11(月・祝)	オープニングセレモニー	470
10/17(日)	生目台地区	3,174
	青島地区	700
10/23(土)	大淀地区	1,300
10/24(日)	檜地区	3,400
10/31(日)	赤江東地区	1,200
	宮崎地区	2,300
11/3(水・祝)	大宮地区	1,500
11/6(土)~7(日)	高岡地区	1,610
11/7(日)	木花地区	2,000
	東中地区	1,389
	生目南中学校区	2,500
11/14(日)	赤江地区	700
11/20(土)	住吉地区	2,000
11/21(日)	本郷地区	2,600
	大塚地区	3,700
	小戸・西池地区	700
	東大宮地区	1,500
11/28(日)	北地区	2,800
	生目地区	3,500
11/3(水・祝)	図書館まつり	2,000
11/27(土)~28(日)	中央公民館まつり	1,268
	合計	42,311